

高額化する教育費



子どもの学ぶ権利を保障する 活用しよう 就学援助

入学や進級の季節です。子どもの成長を喜び、一方、この物価高に制服や通学用品など出費が心配になる家庭も多いのではないのでしょうか。「就学援助」制度を知って、活用しましょう。

2026年度の就学援助の支援内容と金額

(国基準、単位：円、年額)

項目	小学校	中学校
学用品費	11,630	22,730
通学用品費 (第1学年は※で設置)	2,270	2,270
※新入学児童生徒学用品費等 (入学準備金)	64,300	81,000
校外活動費	宿泊を伴わないもの	2,310
	宿泊を伴うもの	6,210
体育実技用具費	柔道	7,650
	剣道	52,900
	スキー	38,030
	スケート	11,810
修学旅行費	22,690	60,910
通学費	40,020	80,880
クラブ活動費	2,760	30,150
生徒会費	4,650	5,550
P T A 会費	3,450	4,260
卒業アルバム代等	11,000	10,000
オンライン学習通信費	15,000	15,000
医療費	トラコーマ、結膜炎、中耳炎、虫歯、寄生虫病など学校病治療費	
学校給食費	完全給食	63,000
		69,000

文科省の予算案であり、実際には自治体・学年によって金額が変わる
■が今年度変わったところ

就学援助制度とは

就学援助制度は、「義務教育は無償」とした憲法第26条や「経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対し、市町村は必要な援助を行わなければならない」「学校教育法」に基づいて行われる公的な支援制度です。小中学生のいる家庭に学用品や入学準備金、給食費、医療費などを補助し、子どもの学習する権利の保障をめざしています。

援助の対象は

本来なら、すべての子どもたちに支給されるべきですが、現在の対象は、①生活保護を受けている(要保護者)世帯、②生活保護に準ずる程度に困窮している(準要保護者)世帯です。準要保護者世帯は市区町村によって異なります。

支援の内容は

支援内容と金額の国の基準は表の通りです。自治体によって違うので、詳しくは任んでいる地域の学校、教育委員会に問い合わせましょう。

申請が必要

支援を受けるには申請が必要です。手続きは、①教育委員会の窓口で直接申請(オンライン申請や郵送で受け付ける自治体も)、②学校を通して申請の二通りで、いつでもおこなえます。マイナンバーの提出を求める自治体もありますが、提出しなくても不利益はありません。

改善を求めよう

この間、自治体独自の支援拡充が広がっています。生活保護基準の引き下げに伴って就学援助の認定基準が引き下げられるなか、26年度から東京・大田区が教材費を、中野区は修学旅行費や校外活動費、教材費を無償化します。

申請が必要

入学準備金(新入学児童生徒用品費など)を入学金として返還する制度も、新婦人中央本部ホームページよりダウンロードできます。

小学校給食費の負担軽減始まる

今年度から小学校給食費の負担軽減が始まります。対象は公立小学校に在籍する児童のみ、給食未実施の学校は支援の対象外です。児童1人につき月額5200円が公費で支援されます。給食費が月5200円を上回る地域は、足りない分を自治体が予算確保するか、保護者から給食費を徴収するケースが想定されています。保護者負担分は就学援助の対象となります。

鉦山の村で生まれて



現在の中内さん

洗濯はそこでし、シーツ等は谷川ですすいでいました。空襲のサイレンが鳴ると、眠いのにな夜中に起こされ防空壕に連れていかれるのが嫌だったのを覚えています。私が生後7カ月の頃、外地に出る前、父が一時帰還しました。人見知りな私に、父は「お前、父の膝の上では機嫌よくして、いとこたちがいとも話してくれなさい。父の「戦死公報」は、私が3歳の頃に届きました。自宅前の石垣にユキノシタの白い花が咲き誇っていました。丸い卓袱台を囲んで母、長兄、次兄、私、皆で泣きました。

母の歴史

高知県 中内理津子さんのお話 (1)

今回から、鉦山の村に生まれ、看護師として労働条件改善にとりくみ、今も平和の活動等を行っている中内理津子さんのお話です。

私は、1943年、高知県の山奥、土佐郡大川村の白滝鉦山で、鉦山労働者の父と母のもとに生まれました。兄一人に続く末っ子。父は私が生まれる一週間前に召集されていました。

大川村は、現在、日本で一番目に小さな村(人口約360人)ですが、最盛期には4千人程が住んでいました。谷川から山に向かつて鉦山会社の社宅が並び、郵便局、駐在所、病院、理髪店、軒、旅館、呉服屋、雑貨店がある街でした。社宅は五軒長屋で、トイレや水道はなく、六畳と四畳半、二畳程の台所という間取りです。共同の洗い場には山から引いた水が溢れ、炊事、

女性のひろば
4月号発売中
わたしの仕事一働きがいと迷いと女性たちの声
憲法を真ん中に多くの国民と手を携えて 塩川鉄也
私のお米物語 読者の手記/エッセー
近代文学に読む「ジェンダーと戦争」③ 澤田章子
手ぬいで作るリメイク小物 エコバッグ 高橋恵美子 小説 プンブン部について あさのあつこ 挿し絵・佐藤真紀子
K-CAFE 韓国の文化を楽しむ 映画 西森路代 □から変える □から変わる 久野よし乃
日本共産党中央委員会出版局 ☎03-3470-9636 定価316円(税込)
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

オンライン 次世代全国ミニ交流 Vol.57
4月10日(金)20時~21時
参加にあたって
・新婦人しんぶん3月21日号、3月28号をご用意ください
・全体会のあと、グループに分かれて「新婦人しんぶん」を一緒に読みます。聞くだけでもOK!
お問い合わせ 各支部または都道府県本部へ

オンライン企画のご案内
大軍拡・大増税 NO! 連絡会 「政治の流れと平和への課題」 日時:4月9日(木)18時~
講演:石川 康宏さん (神戸女学院大学名誉教授)
Zoom ID:837 7273 5150
パスコード:123456
URL: https://x.gd/MYNTY
←資料は事前にこちらからダウンロードを https://x.gd/cg5vj
主催:大軍拡・大増税 NO! 連絡会
春の憲法講座 「高市内閣の改憲・軍拡策動の狙い。どう立ち向かうか」 日時:3月22日(日) 12時30分~
講演:渡辺 治さん (一橋大学名誉教授)
YouTube でライブ配信 視聴された方は参加費1000円を郵便振替 00160-8-66110 憲法会議 に振り込んでください
主催:憲法会議